

日誌 (昭和33年3月)

【国内】

- 1日 ○本行、英ポンド表示外国為替引当貸付の利率引下げ（日歩1銭6厘を1銭5厘5毛へ）
○為銀、米ドル・ユーザンス金利引下げ（年利5%以上を4.75%以上へ）
- 5日 ○本行、米ドル表示外国為替引当貸付の利率引下げ（日歩5厘5毛を5厘へ）
○第4次日中貿易協定調印
○経企庁、昭和33年度の総合資金需給見込および産業資金供給見込を国会に提出
- 6日 ○為銀、米ドル・ユーザンス金利引下げ（年利4.75%以上を4.5%以上へ）
- 12日 ○昭和32年度一般会計補正予算第2号成立
- 19日 ○鉄鉱石開発についての日印覚書調印
- 20日 ○昭和32年度一般会計補正予算第3号成立
- 26日 ○本行、英ポンド表示外国為替引当貸付の利率引下げ（日歩1銭5厘5毛を1銭4厘5毛へ）
- 27日 ○本行、政府（MOF）保有外貨30万ドル（米ドル）を買戻し
- 29日 ○本行、米ドル表示外国為替引当貸付の利率引下げ（日歩5厘を4厘5毛へ）
- 31日 ○昭和33年度一般会計・特別会計・政府関係機関各予算成立
○法人税法の一部を改正する法律・酒税法の一部を改正する法律・租税特別措置法の一部を改正する法律（貯蓄控除制度など）成立（即日公布、4月1日施行）
○閣僚審議会、昭和33年度上期外国為替予算を決定
○農林省、昭和33年度上期農業観測を発表

【海外】

- 2日 ○イエメン、アラブ連合共和国に参加
○イラク、ムルジャ内閣辞職（同日ヌリ・サイド内閣成立）
- 4日 ○米国、対印経済援助225百万ドル供与を発表
- 5日 ○エカフェ第14回総会クアラルンプールにて開催
- 7日 ○ニューヨーク・フィラデルフィア・シカゴの3連銀、公定歩合を2¾%から2¼%へ引下げ
- 8日 ○アイゼンハワー大統領、景気後退阻止のための新政策を発表
- 10日 ○アトランタ連銀、公定歩合を引下げ
○スイス、商業銀行の支払準備預金制度を廃止
- 11日 ○ボストン連銀、公定歩合を引下げ
○SEATO第4回理事会マニラにて開催
- 12日 ○サンフランシスコ連銀、公定歩合を3%から2¼%に引下げ
○レバノン、ソル内閣総辞職（14日再組閣）
- 13日 ○インドネシア議会、対日賠償協定批准
- 14日 ○クリーブランド・リッチモンド・セントルイス・カンサスシティ・ダラスの5連銀、公定歩合を引下げ
- 16日 ○ソ連最高会議選挙
- 18日 ○連邦準備制度理事会、加盟銀行の要求払預金に対する支払準備率を全地区一率に½%引下げ
○国府、対日輸入取引一時中止を発表
- 20日 ○ミネアポリス連銀、公定歩合を引下げ
○英国、公定歩合を7%から6%へ引下げ
- 22日 ○オランダ、支払準備率を5%から6%へ引上げ
- 25日 ○オランダ、公定歩合を4.5%から4%へ引下げ
- 27日 ○ベルギー、公定歩合を4.5%から4.25%へ引下げ
○ソ連最高会議開催（31日まで）、フルシチョフ第一書記首相を兼任